

シラバス

指定番号 144

商号又は名称:医療法人清翠会

科目番号・科目名	(1) 職務の理解			
指導目標	① 研修開始に際しこれからの介護がめざすべき その人の生活を支える在宅ケアや施設ケアの実践について介護職がどのような環境でどのように仕事を行っているかを具体的なイメージをもって実感でき、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。 ② 職業教育としての研修にのぞむための目標を共有できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①多様なサービスと理解	2	2	0	【講義内容】 1 介護職の仕事内容や働く現場の理解 (1) 多様なサービスの理解 (2) 介護の業務 (3) キャリアパスと介護職員初任者研修 (4) OJT OffJTを通じた学習の継続 【実施方法】 DVD・テキストを用いて講義
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	4	4	0	【見学実習】 (1) 介護職の働く現場 老人保健施設・グループホーム等で働く介護職の勤務状況を見学実習する (食事の介助 排せつの介助 コミュニケーション等) (内容) 指導者の指示のもと食事場面 入浴場面 移動介助 排泄介助の場面を見学する 【演習】 (1) 実習後、グループワークにより介護の現場を見学して学んだことを共有する。 (2) 今後の研修へのとりくみや資格をとって介護職を行うことへの自己の目標を発表しあう。
(合計時間数)	6	6	0	

使用する機器・備品等	教材 介護職初任者研修テキスト1・DVD (一般財団法人 長寿社会開発センター) 見学実習施設 牧老人保健施設
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 144

商号又は名称：医療法人清翠会

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	①介護職が利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることが自覚し、自立支援、介護予防という介護福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点およびやってはいけない行動例が理解できる。 ②介護の目標や展開について尊厳の保持、QOL、ノーマライゼーション、自立支援の考え方を取り入れて概説できる。 ③虐待の定義、身体拘束、およびサービス利用者の尊厳、プライバシーを傷つける介護についての基本的ポイントが言える。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①人権と尊厳を支える介護	3	1	2	【講義内容】【通信学習課題の概要】 1 人権と尊厳の保持 (1) 人間の尊厳と自立 (2) ノーマライゼーションの意義 (3) 個人の尊厳と法制度
②自立にむけた介護	4	1	3	【講義内容】【通信学習課題の概要】 1 自立にむけた介護 (1) 介護の基本視点 ・介護サービスの社会的役割 ・ノーマライゼーション ・生活の質(QOL) (2) 介護予防 ・介護予防の考え方 ・介護予防活動の実際 ・セルフケア ・ケアマネジメント ・ヘルスプロモーション
③人権啓発に係る基礎知識	2	2	0	【講義内容】 1 人権擁護の基本視点 (1) 高齢者虐待 ・高齢者虐待防止法 ・施設従事者等による高齢者虐待と身体拘束 (2) 利用者の尊厳の保持 ・成年後見制度 ・高齢者虐待防止への対応
(合計時間数)	9	4	5	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト 1巻 (長寿社会開発センター)
------------	----------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 144

商号又は名称:医療法人清翠会

科目番号・科目名	(3) 介護の基本			
指導目標	<p>①介護のめざす基本的なものは何かを概説でき、家族による介護と専門職による介護の違い、介護の専門性について述べることができる。</p> <p>②介護職として共通の基本的な役割とサービスごとの特性、医療、看護との連携の必要性について述べるができる。</p> <p>③介護職として職業倫理の重要性を理解し、介護職が利用者や家族等と関わる際の留意点について、ポイントを述べるができる。</p> <p>④介護職におこりやすい健康障がいやストレス、またそれらに対する健康管理、ストレスマネジメントの在り方、留意点を述べるができる。</p>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	1	0.5	0.5	<p>【講義内容】【通信学習課題の概要】</p> <p>(1) 介護環境の特徴の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護環境の特性 ・地域包括ケアの方向性 <p>(2) 介護の専門性・根拠のある介護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職としての介護の視点 <p>(3) 介護に関する職種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者を取りまく多職種連携
②介護職の職業倫理	1	0.5	0.5	<p>【講義内容】【通信学習課題の概要】</p> <p>(1) 介護サービスの公共性と職業倫理</p> <p>(2) 利用者・家族に対する責任</p> <p>(3) 社会に対する責任</p> <p>(4) プライバシーの保護・尊重</p>
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	2	1	1	<p>【講義内容】【通信学習課題の概要】</p> <p>(1) 介護における安全の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供と安全管理体制 ・介護事故の分類と実態 <p>(2) 事故予防安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメント <p>(3) 感染対策のための基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染の原因と経路 ・スタンダードプリコーション ・手洗い ・洗浄と消毒 <p>【演習】</p> <p>①手洗い 手袋装着 うがい</p> <p>②消毒法</p>
④介護職の安全	2	1	1	<p>【講義内容】【通信学習課題の概要】</p> <p>(1) 健康管理とストレスマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腰痛予防 ・ストレスマネジメント <p>(2) 介護職の労働の権利と労働法</p>
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	<p>教材 介護職員初任者研修テキスト 1巻 (長寿社会開発センター)</p> <p>演習 液体せっけん 速乾性擦り込み式手指消毒剤 ペーパータオル 使い捨て手袋 使い捨てマスク ミルトン液 計量カップ バケツ</p>
------------	---

※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。

- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 144

商号又は名称:医療法人清翠会

科目番号・科目名	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携			
指導目標	①生活全体の支援のなかで介護保険制度の位置づけを理解し、各サービスや地域支援の役割について述べることができる。 ②介護保険制度や障がい者総合支援制度の概念、介護保険制度の財源や保険料負担の大枠について述べるができる。 ③ケアマネジメントの意義が大まかに説明でき、主なサービスの種類や内容や流れが説明できる。 ④高齢障がい者の生活を支援するための基本的な考え方を理解し、主な障がい福祉サービス、権利擁護や成年後見の制度の目的、内容について述べるができる。 ⑤医行為の考え方や介護福祉士等が行う医行為などについて述べるができる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護保険制度	4	0.5	3.5	【講義内容】【通信学習課題の概要】 (1) 介護保険制度創設の背景、目的および動向 (2) 介護保険制度の仕組みの基本的理解 (3) 制度を支える組織・団体の機能と役割、財源 (4) ケアマネジメント
②医療の連携とリハビリテーション	3	0.5	2.5	【講義内容】【通信学習課題の概要】 (1) 医行為と介護 (2) 医療と介護の連携 ※事例を紹介し具体的に説明する (3) リハビリテーション職種との連携
③障がい者総合支援制度およびその他制度	2	0.5	1.5	【講義内容】【通信学習課題の概要】 (1) 障がい者制度の理念 (2) 障がい者自立支援制度の仕組みの基礎的理解 (3) 個人の権利を守る制度の概要
(合計時間数)	9	1.5	7.5	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト 1巻 (長寿社会開発センター)
------------	----------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 144

商号又は名称:医療法人清翠会

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション			
指導目標	① 共感・受容・傾聴的態度、・気づき・基本的コミュニケーション上のポイントが理解でき述べられる。 ② 家族が抱きやすい心理や葛藤の存在と介護における相談援助技術の重要性を理解し、介護職として持つべき視点を述べられる。 ③ 言語・視覚・聴覚障がい者とのコミュニケーション上の留意事項が述べられる。 ④ 介護におけるチームのコミュニケーションにおける記録の機能と重要性に気づき、主要なポイントを述べられる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5	【講義内容】【通信学習課題の概要】 (1) 介護におけるコミュニケーションの技法 ・生活場面におけるコミュニケーション ・相談援助技術 (2) 利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ・利用者の心理とコミュニケーション ・家族とのコミュニケーション (3) 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 ・言語 視覚 聴覚障害者とのコミュニケーション ・言語障害者とのコミュニケーション ・認知症に応じたコミュニケーション 【演習】 ①介護場面のロールプレイング ②目隠し体験 難聴体験を行い 療養者の思いを知る
②介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5	【講義内容】【通信学習課題の概要】 (1) 観察・記録・情報伝達 ・チームアプローチのルーツ ・チームアプローチの効果と意義 ・介護職と記録 ・報告 連絡 相談 (2) コミュニケーションを促す環境 ・共感的理解とコミュニケーション ・情報の共有とチーム内コミュニケーション
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト 2巻 (長寿社会開発センター)
------------	----------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 144

商号又は名称:医療法人清翠会

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	① 加齢老化に伴う生理的な変化や心身の変化・特徴、社会的、身体面。精神面、知的能力面などの変化に着目した心理的特徴について述べられる。 ② 高齢者に多い疾病の種類と、その症状や特徴および治療・生活上の留意点、及び高齢者の疾病による症状や訴えについて述べられる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①老化に伴うところとからだの変化と日常	3	1.5	1.5	【講義内容】【通信学習課題の概要】 (1) 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 (2) 老化に伴うからだの変化と日常 ・加齢の生理学
②高齢者と健康	3	1.5	1.5	【講義内容】【通信学習課題の概要】 (1) 高齢者の疾病と生活上の留意点 ・身体的精神的機能の変化と病気 日常生活への影響 ・おもな症状とチェックポイント (2) 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 ・生活習慣病とメタボリックシンドローム ・高血圧と糖尿病 ・循環器系の病気 ・呼吸器の病気 ・消化器の病気 ・代謝 内分泌の病気 ・脳血管系の病気 ・運動器の病気 ・アレルギー 膠原病 免疫の病気 ・血液の病気 ・腎臓 泌尿器の病気 ・こころの病気 ・目の病気 ・耳 鼻 喉の病気 ・皮膚の病気 ・歯 口腔 顎の病気 ・感染
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト 2巻 (長寿社会開発センター)
------------	----------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 144

商号又は名称:医療法人清翠会

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	① 認知症ケアの理念や利用者中心というケアの考えかたについて述べられる。 ② 健康な高齢者の健忘と認知症による記憶障がいのがい述べられる。 ③ 認知症の中核症状と行動心理症状などの基本的特性、およびそれに影響する要因を述べられる。 ④ 認知症の心理・行動のポイント、認知症の利用者への対応、コミュニケーションの取り方、および介護の原則について述べられる。 ⑤ 認知症の利用者の健康管理の重要性と留意点、廃用症候群予防について述べられる。 ⑥ 認知症の利用者の生活環境の意義やその在り方について主要なキーワードを述べられる。 ⑦ 認知症の利用者とのコミュニケーションの原則、ポイントについて理解でき、具体的ななかかわり方を述べられる。 ⑧ 家族の気持ちや家族の受けやすいストレスについて述べられる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①認知症をとりまく状況	1	0.5	0.5	【講義内容】【通信学習課題の概要】 (1) 認知症ケアの理念 ・最新情報
②医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理	2	1	1	【講義内容】【通信学習課題の概要】 (1) 認知症の概念 (2) 認知症の原因疾患とその病態 (3) 原因疾患別のケアのポイントと健康管理
③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2	1	1	【講義内容】【通信学習課題の概要】 (1) 認知症の人の生活障害、心理、行動の特徴 (2) 認知症の利用者への対応
④家族への支援	1	0.5	0.5	【講義内容】【通信学習課題の概要】 (1) 認知症家族介護者の現状の理解 (2) 認知症をもつ人の声、家族の声
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト 2巻 (長寿社会開発センター)
------------	----------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 144

商号又は名称:医療法人清翠会

科目番号・科目名	(8) 障がいの理解			
指導目標	① 障がいの概念とICFについて述べられ、各障がいの内容・特徴および障がいに応じた社会支援の考え方について述べられる。 ② 障がいの受容のプロセスと基本的な介護の考え方について述べられる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①障がいの基礎的理解	1	0.5	0.5	【講義内容】【通信学習課題の概要】 (1) 障がいの概念とICF ・ 障害の構造 ・ 障害の受容 (2) 障がい福祉の基本理念 ・ ノーマライゼーションの概念 ・ リハビリテーションとは ・ インクルージョンとは
②障がいの医学的側面、生活障がい、心理行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	0.5	0.5	【講義内容】【通信学習課題の概要】 (1) 身体障がい (2) 知的障がい (3) 精神障がい (4) 難病
③家族の心理、かかわり支援の理解	1	0.5	0.5	【講義内容】【通信学習課題の概要】 (1) 家族への支援 ・ 障害の理解 障害の受容支援 ・ 障害の受容の理解
(合計時間数)	3	1.5	1.5	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト 2巻 (長寿社会開発センター)
------------	----------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 144
商号又は名称:医療法人清翠会

科目番号・科目名	(9)-1 こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	① 主だった状態像の高齢者の生活の様子をイメージでき、要介護度等に応じた在宅・施設等それぞれの場面における高齢者の生活について述べられる。 ② 要介護度や健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則(方法・留意点・その根拠等)について大まかに説明でき生活の中の介護予防、および介護予防プログラムによる機能低下の予防の考え方や方法を述べられる。 ③ 利用者の身体の状況に合わせた介護、環境整備についてポイントを述べられる ④ 人の記憶の構造や意欲等を支援と結びつけて大まかに述べられる。 ⑤ 人体の構造や機能が述べられ、なぜ行動が起こるのかが大まかに述べられる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護の基本的な考え方	1.	0.5	0.5	【講義内容】【通信学習課題の概要】 (1) 介護の基本的な考え方 ・ I C F の理解 ・ 介護福祉士の法的定義 義務規定と倫理 ・ 基本的な介護技術の原則 ・ 介護保険制度下の介護サービス (2) 重度化防止の視点 ・ 介護予防について
②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	2	0.5	1.5	【講義内容】【通信学習課題の概要】 (1) 高齢者の心理 ・ 加齢に伴う変化とその心理 ・ 高齢者のパーソナリティと適応 (2) 自己実現と生きがいづくり ・ 高齢者の喪失体験といきがい ・ 生きがいづくり支援
③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	7	3	4	【講義内容】【通信学習課題の概要】 (1) 人体の名称とはたらき (2) 運動動作に関する基礎知識 ・ 身体のうごきの基本 ボディメカニクス (3) 神経系に関する体のしくみ ・ 中枢神経系と体制神経 (4) バイタルチェック ・ 血圧測定 体温測定
(合計時間数)	75	63	12	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト 3巻 (長寿社会開発センター) DVD 介護技術 使用する機器 水銀体温計 電子体温計 アネロイド型血圧計 電子血圧計 聴診器
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 144

商号又は名称:医療法人清翠会

科目番号・科目名	(9)-2 こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	⑥ 家事援助の機能と基本原則について述べられる ⑦ 装うことや整容の意義について解説でき、指示や根拠に整容の意義について解説でき、指示や根拠に基づいて部分的な介護を行うことができる。 ⑧ 体位変換と移動移乗の意味と関連する用具・機器やさまざまな車いす、杖などの基本的使用方法を大まかに説明でき、指示や根拠に基づいて介助を行うことができる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
④生活と家事	6	2	4	【講義内容】【通信学習課題の概要】 (1) 家事と生活の理解 (2) 家事援助に関する基礎知識と生活支援 【演習】 ・調理・買い物 (2時間) ・掃除 (2時間) ・洗濯 (2時間) ・被服の補修 (1時間)
⑤快適な居住環境整備と介護	4	2	2	【講義内容】【通信学習課題の概要】 (1) 5住環境整備 (2) 福祉用具の活用 【演習】 ・福祉用具の実際と使用方法
⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3	3	0	【講義内容】 (1) 整容に関する基礎知識 DVD視聴 【演習】 ・衣類の着脱の介護 (ねまき パジャマ) ・つめきり ひげそり
⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立にむけた介護	7	7	0	【講義内容】 (1) 体位・姿勢の基礎知識 【演習】 (2) 移乗の介護 (3) 車いすでの移動の介護 (4) 移動の介護 ・外出時の歩行介助
(合計時間数)	75	63	12	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト 3巻 長寿社会開発センター DVD 使用する機器・備品 電気コンロ 電子レンジ 鍋 包丁 まな板 ボール 掃除機 ほうき 雑巾 モップ 洗濯機 裁縫道具 パジャマ ねまき 下着 タオル シーツ 電動ベッド 車いす(自走用 介助用) 杖 椅子 スライディングボード 移動用シート 歩行器
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 144

商号又は名称: 医療法人清翠会

科目番号・科目名	(9) - 3 ころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	⑨ 食事の意味と食事を取り巻く環境整備の方法が述べられ、食事に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 ⑩ 入浴や清潔の意味と入浴を取りまく環境整備や入浴に関連した用具を述べられ入浴に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑧ 食事に関連したころとからだのしくみと自立にむけた介護	7	7	0	【講義内容】 (1) 食事の基礎的理解 ・ 食事をする意味 ・ 食事の生理的な仕組み (2) 食事の介護 ・ 低栄養の弊害 ・ 脱水の弊害 ・ 食事と姿勢 ・ 誤嚥性肺炎の予防 (3) 口腔ケアの支援技術 ・ 誤嚥性肺炎の予防 ・ 口腔ケアの意義 【演習】 ・ 食事の介護の実際 ・ 口腔ケアの実際
⑨ 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立にむけた介護	14	14	0	【講義内容】 (1) 入浴・清潔保持に関する基礎知識 【演習】 (2) 入浴の介護の実際 (3) 身体の清潔の介護 ・ 清拭 ・ 足浴 ・ 床上洗髪
(合計時間数)	75	63	12	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト 3巻 長寿社会開発センター DVD 機器備品 電動ベッド バケツ タオル 足浴バケツ ナイロンシート ゴミ袋 ポータブルトイレ 男性用尿器 女性用尿器 安楽尿器 紙おむつ ナイロンシート 実習用人形 ねまき パジャマ
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 144
商号又は名称:医療法人清翠会

科目番号・科目名	(9)-3 こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	① 排泄の意味と排泄をとりまく環境整備や関連した用具を述べられ、排せつに関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 ② 睡眠の意味と睡眠を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、睡眠に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。 ③ ターミナルケアの考え方、対応のしかた・留意点、本人・家族への説明と了解、介護職の役割や他の職種との連携について述べられる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑩排せつに関連したこころとからだのしくみと自立にむけた介護	6	6	0	【講義内容】 (1) 排せつに関する基礎知識 DVD視聴 【演習】 (2) 排せつの介護 ・トイレの介助 ・尿器便器の使用と介助 ・紙おむつの使い方
⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立にむけた介護	3	3	0	【講義内容】 (1) 睡眠に関する基礎知識 【演習】 (2) 睡眠の介護 ・寝具の整え方 ・ベッドメイキング
⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	3	3	0	【講義内容】 (1) 終末期ケアに関する基礎知識 (2) 終末期ケア (3) 看取りの介護 ・事例をとおして学ぶ
(合計時間数)	75	63	12	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト 3巻 長寿社会開発センター DVD 機器備品 電動ベッド バケツ タオル 足浴バケツ ナイロンシート ゴミ袋 ポータブルトイレ 男性用尿器 女性用尿器 安楽尿器 紙おむつ ナイロンシート 実習用人形 ねまき パジャマ
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 144

商号又は名称:医療法人清翠会

科目番号・科目名	(9)-4 こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	⑭介護過程の目的・意義が理解でき、述べられる ⑮介護過程の展開方法がおおまかにわかり、事例の介護計画が立案できる。 ⑯立案した介護計画を評価し修正することができる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑬介護過程の基礎的理解	6	6	0	【講義内容】 (1) 介護過程の基礎的理解 ・介護過程の目的・意義 ・介護過程の展開 ・介護過程とチームアプローチ ・チームアプローチにおける介護職の位置づけ (2) 介護過程の展開 ・事例の展開
⑭総合生活支援技術演習	6	6	0	【演習】 (1) 要介護者 家族介護者への援助 ・事例の概要 生活状況 ・事例の状態像の把握 ・必要と考えられる生活支援とその理由 (2) 要支援者への支援 ・事例の概要 生活状況 ・事例の状態像の把握 ・必要と考えられる生活支援とその理由
(合計時間数)	75	63	12	

使用する機器・備品等	教材 介護職員初任者研修テキスト 3巻 長寿社会開発センター
------------	--------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 144

商号又は名称:医療法人清翠会

科目番号・科目名	(10) 振り返り			
指導目標	①研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに就業後も継続して学習研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①振り返り	3	3	0	【見学実習】 (1) 訪問介護の実際を見学し、今回の研修の学びを振り返る ・在宅での訪問介護の実際 ・他職種との連携の実際
②就業への備えと研修修了後における実例	1	1	0	(1) 質の向上と人材育成 ・介護人材の将来見通し ・国の取り組み ・キャリアパスの全体像 (2) 事業所などにおける実例に学ぶ ・専門職としての心構え ・事業所等における O J T ・継続した学習の必要性 ・介護保険制度の期待に応えるために
(合計時間数)	4	4	0	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。